

2020年度自賠責運用益使途選定委員会 議事録

日 時：2019年12月20日（金）15時55分～17時00分

場 所：損保会館502会議室

議 題：（1）2018年度自賠責運用益拠出事業の評価・検証について（報告）
（2）2020年度自賠責運用益拠出事業（案）について（審議）

出 席：洲崎委員長、大野委員、肥塚委員、古笛委員、鈴木委員、辰巳委員、中林委員、中村委員、
矢代委員

協 会：岩崎、緒方、伊東、宇田川、佐々木、大良

議 事

司 会：洲崎委員長

（1）2018年度自賠責運用益拠出事業の評価・検証について（報告）

協会・宇田川理事部長から、2018年度の拠出事業の評価・検証結果および2019年度の拠出事業の上期実施状況について、席上配付資料に基づき報告があった。

（2）2020年度自賠責運用益拠出事業（案）について（審議）

協会・宇田川理事部長から、2020年度自賠責運用益拠出事業（案）について、席上配付資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

引き続き、洲崎委員長から、本件は協会・岩崎専務理事を通じて金杉会長に答申する旨説明があった。

議事における主な席上意見は以下のとおり。

- 限られた予算なので、引き続き自賠責運用益拠出事業の本来の目的に照らして、拠出の優先順位づけ等を行うべきである。
- 従来から継続して実施している事業についても、その役割の変化に鑑み、新たな事業活動を損保協会側から提案するなど、事業内容の見直しを行ってはどうか。
- 救急医療体制の整備について、医療機器の寄贈などのハード面での支援だけでなく、いち早く交通事故被害者が治療を受けられる環境を整備するなどのソフト面での支援も重要ではないか。
- 自賠責運用益拠出事業の基本的な考え方について、「今後の自動車損害賠償保障制度のあり方に係る懇談会」で議論されてから8年近くになる。これまでの拠出により、どのような進捗があり、どのような効果があったのか、振り返りができると良い。これまでの振り返りや評価等を踏まえた今日的な視点を持って、本事業の方向性を検討するべきではないか。

以 上